

令和7年度から 65歳以上の方などを対象に 带状疱疹ワクチンの 定期接種を実施します。

6月中に対象者の方へ
個別通知を
お送りします！



対象者・接種ワクチン・回数・自己負担額・期間

【対象者】

- 令和7年度内に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳を迎える方。令和7年度に限り、101歳以上の方も対象になります。
- 60～64歳で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障がいがあり、日常生活がほとんど不可能な方（かかりつけ医にご相談ください。）

【接種ワクチン・回数・自己負担額】

接種ワクチン	接種回数	市民税課税世帯	市民税非課税世帯 【半額減免】	生活保護世帯 中国残留邦人支援金受給者 【全額免除】
生ワクチン	1回	3,000円	1,500円	0円
不活化ワクチン	2回	12,000円×2回	6,000円×2回	0円×2回

※ 市民税非課税世帯（世帯全員が非課税の世帯）、生活保護世帯、中国残留邦人等の支援受給者の方で、減免を希望する方は、**接種前に**保健所保健課感染症係に申請することで自己負担額を減免することができます。

【接種期間】

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

接種方法

6月中に対象者の方に予診票とお知らせを個別送付する予定です。 予診票とお知らせ(接種済証)、身分証明書(マイナンバーカード等)、自己負担金、自己負担額通知書(申請により減免された方のみ)をご持参のうえ、実施医療機関に連絡後に接種してください。

※ それまでに接種が必要な方は、保健課感染症係(下記の問い合わせ先)へご連絡ください。

※ 接種の効果と副反応のリスクについてご理解のうえ、本人の意思に基づいて接種をご判断ください。

実施場所

岡山県内の指定医療機関

※ 詳しくは市ホームページをご覧ください。市保健所にお尋ねください。



問い合わせ先 倉敷市保健所保健課感染症係 電話(086)434-9810

带状疱疹は、痛みを伴う皮膚の病気です



- 带状疱疹は、水痘带状疱疹ウイルスが再活性化することにより、神経に沿って、痛みを伴う水疱（水ぶくれ）が現れる皮膚の病気です。
- 合併症の一つに、皮膚の症状が治った後にも痛みが残ることがあり、日常生活に支障をきたすこともあります。



带状疱疹ワクチンは2種類あります

- 带状疱疹ワクチンには2種類あり、接種方法や、効果とその持続期間、副反応などの特徴が異なりますが、いずれのワクチンも、带状疱疹やその合併症に対する予防効果が認められています。

◎ワクチンの特徴

	生ワクチン	不活化ワクチン
接種方法	皮下に接種	筋肉内に接種
接種回数と間隔	1回	2回（2か月以上の間隔をあける）※
接種条件	病気や治療によって、 免疫の低下している方は接種できません	免疫の状態に関わらず接種可能

（※）病気や治療により、免疫の機能が低下したまたは低下する可能性がある方等は、医師が早期の接種が必要と判断した場合、接種間隔を1か月まで短縮できます。

◎带状疱疹に対するワクチンの予防効果

	生ワクチン	不活化ワクチン
接種後1年時点	6割以上	9割以上
接種後5年時点	4割程度	9割程度
接種後10年時点	—	7割程度

◎ワクチンの安全性

- ワクチンを接種後に以下のような副反応がみられることがあります。
- 頻度は不明ですが、生ワクチンについては、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎が、不活化ワクチンについては、ショック、アナフィラキシーがみられることがあります。



主な副反応の発現割合	生ワクチン	不活化ワクチン
70%以上	—	疼痛※
30%以上	発赤※	発赤※、筋肉痛、疲労
10%以上	そう痒感※、熱感※、腫脹※、疼痛※、硬結※	頭痛、腫脹※、悪寒、発熱、胃腸症状
1%以上	発疹、倦怠感	そう痒感※、倦怠感、その他の疼痛

（※）ワクチンを接種した部位の症状

◎予防接種健康被害救済制度があります

予防接種は、感染症を予防するために重要なものですが、健康被害（病気になったり障がいが残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、副反応による健康被害をなくすることはできないことから、救済制度が設けられています。

詳しくはホームページをご覧ください。倉敷市保健所保健課感染症係（☎086-434-9810）へお問い合わせください。

